

練習問題

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

今は昔、竹取の翁たけとりのおきなといふ者1ありけり。野山（野山に分け入って）にまじりて竹を取りつつよろづの事につかひ

けり。名をばさかきみやつこの造となむいひ2ける。その竹の中にもと（根元が）光る竹なむ一筋ありける。

あやしがりて寄りて見るに、筒の中（九センチくらいの人）光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人4いと美

しうてゐたり。翁いふやう、「われあさごとゆふごとに見る竹の中におはするにて知りぬ。（いらっしやった）縁（縁で気づいた）で気づいた

子になり給ふべき人なめり」とて、手にうち入れて家へ持ちて来ぬ。妻（め）の（おうな） 軀（からだ）にあづけて（音） 養（やしな）

はす（おとせむす）。美（うつく）しきこと（こと） 限（かぎ）りなし。  
（『竹取物語』）

問一 傍線部1～5の品詞は何か。ア～クの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 動詞    イ 形容詞    ウ 形容動詞    エ 名詞  
オ 副詞    カ 連体詞    キ 接続詞    ク 感動詞

|   |  |
|---|--|
| 1 |  |
| 2 |  |
| 3 |  |
| 4 |  |
| 5 |  |

〔参照〕

↓（ポイント）

A 品詞

問二 二重傍線部の中から、付属語をすべて抜き出せ。

|  |
|--|
|  |
|--|

↓(ポイント)  
A 品詞      d 付属語

問三 二重傍線部を文節に区切るといくつに分かれるか、答えよ。

|  |
|--|
|  |
|--|

↓(ポイント)  
A 品詞      b 文節

問四 波線部 a～e の活用形は何か。ア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 未然形      イ 連用形      ウ 終止形      エ 連体形  
オ 已然形      カ 命令形

|   |
|---|
| a |
|   |
| b |
|   |
| c |
|   |
| d |
|   |
| e |
|   |

↓(ポイント)  
B 活用形  
C 係り結びの法則